

英語教育 実技・理論 研修会 終了報告

| | | |
|----------------|---|---|
| テーマ | 新学習指導要領に沿った授業実践とその評価について | |
| 日時 | 令和4年8月5日(金) | |
| 会場 | 石狩教育研修センター | |
| 講師 | 西林 慶武 氏 (登別市立幌別中学校) | |
| 参加者 | 27名 | |
| 研修会 の 様子 |  | 講師の西林先生は、生徒の活動を中心とした授業を組み立てることで生徒の英語力を向上させています。特にペアワークとグループワークにおいて、評価の観点である「主体的に学びに向かう態度」「知識・技能」「思考・判断・表現」を見とるための具体的な活動内容について示してくださいました。 |
| |  | 理論研修であることも踏まえ、3観点における評価についてその利点と考え方について話しされました。4観点から3観点に変わったことでの難しさと、その解決方法のいくつかを例示してくださったので、大変学びが多かったです。 |
| |  | ペアワークの活動では、その学習効果だけではなく、指導上注意しなくてはならないポイントや、さらに力をつける工夫について話しされました。例えば、指示した活動を指示したとおりに行っているかの確認、なぜこの学習が必要なのか趣意説明をすることなどです。また参加された先生方が追視しやすいように複数の生徒の作品を提示していただき、参加された先生方にも実践するうえでの見通しをもたせてくれました。 |
| |  | 英語教師が興味を持っている教科書の扱い方と Visualizing (聞いた英語をイラスト化し、そこからスピーキングやライティングにリンクさせる活動)について提案していただきました。また参加者どうしが生徒役となり実際にペアワーク方法を模擬体験しました。retell の指導手順がわかりやすかったと参加者からも好評でした。 |